

## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

ちゃんと朝食を食べましょう。  
よるは早めに寝ましょう。  
うけよう。がん検診。  
ふあんや心配があったら  
家族や身近な人たちに  
相談しましょう。



マスコットキャラクター「ふーちゃん」



## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

以下の表は、調布市民健康づくり推進連絡会メンバーが所属する部署で、平成 28 年度に実施した健康づくりに関連のある事業を、年代別、目標別に示したものです。

なお、各事業と第3次プランで掲げた7つの目標との関連性の強さを◎・○・△の記号で表しています。

### 凡例

- ◎：事業と目標の関連が強い
- ：事業と目標の関連がやや強い
- △：事業と目標にある程度関連がある

調布市民健康づくりプラン推進  
連絡会の委員の構成については  
195 ページに載っているよ。



## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 1 乳幼児期

#### 1 乳幼児期

事業名	事業概要	対象者	課名
ゆりかご調布	妊娠中から出産・子育ての情報を提供し、安心して出産を迎え、子育てできるよう、妊娠届出時と同時、または妊娠中に保健師等の専門職と面接し、出産・子育てに関する相談・情報提供を行う。	妊婦	健康推進課
もうすぐママパパ教室 (平日4回コース)	地域毎にグループを構成し、妊娠中から仲間づくりを支援するとともに、妊娠前後の健康や子育てに関する健康教育・体験学習を行う。また、出産に向けての心と体の準備や出産後の赤ちゃんとのふれあい方、子ども家庭支援センター見学、市の子育てサービス等についても学ぶ。	初産婦(妊娠 16 週から 27 週)とそのパートナー	健康推進課
もうすぐママパパ教室 (土曜日1回コース)	妊娠前後の健康や子育てに関する健康教育・体験学習を行う。また、出産に向けての心と体の準備や出産後の赤ちゃんとのふれあい方、市の子育てサービスについて学ぶ。	初産婦(妊娠 16 週から 27 週)とそのパートナー	健康推進課
助産師相談	妊婦又は産後間もない保護者の抱える悩みを軽減する目的で行う相談事業。	妊婦及び乳幼児とその保護者	児童青少年課
乳幼児・義務教育就学児医療費助成	乳幼児及び義務教育就学児にかかる医療保険の自己負担分を助成する。小学校4年生から中学校3年生までについては、保護者の所得制限あり。	市内に住所を有する医療保険に加入している0歳から中学校3年生までの児童を養育している保護者	子ども家庭課
こんにちは赤ちゃん訪問	助産師、保健師、看護師等が対象家庭を訪問し、各自の生活に沿った出産、育児を支援する事業。	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭	健康推進課
乳幼児健康診査 (集団・個別・発達・経過観察)	各健診では成長発達の確認および疾患の早期発見。 経過観察・発達健診では個別に成長発達について継続確認を実施。	3～4か月児・1歳6か月児・3歳児他 経過観察・発達健診は未就学児	健康推進課
ママのほんわかタイム/ メッセージ	グループ活動を通じて母親が安心して育児できるよう支援する事業。	乳児健診に来所した母親、1歳までの子どもをもつ母親	健康推進課
コロコロパンダ	体操や手遊び、子育て情報の交換を行う。離乳食や応急措置、夏の過ごし方などテーマについてグループワークを行うこともある。	調布市在住の満3か月～1歳の誕生月までの赤ちゃんとその保護者	子ども家庭支援センターすこやか
わくわく育児ひろば	対象月齢に応じた乳児の発育や知識、育児についての健康教育を実施。	子育てひろばに集う3か月から1歳までの乳幼児とその保護者	児童青少年課

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
1 乳幼児期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
◎	○	○	○	◎	◎	○
◎	○	○	○	○	○	◎
◎	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	◎	◎	○
	○	○				
○	◎	○	○	◎	◎	○
○	○	○	○	◎	○	○
○	◎	○	◎	◎	○	○
◎		○	○	○		◎
◎	○	◎	○	○	◎	○

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 1 乳幼児期

事業名	事業概要	対象者	課名
わくわく育児教室	乳幼児の発達や子育てに関する考え方・知識を伝え、子どもと向きあう楽しさを学ぶ事業。	こあらクラス：生後6～8か月児とその保護者 らいおんクラス：1歳～1歳2か月児とその保護者	健康推進課
アレルギー相談	アレルギー疾患の正しい知識の普及，食事や生活の相談に対応する。対象市民に対して個別相談，スキンケア教室，講演会を実施。	①アレルギー疾患についての相談を希望する市民，本人又は家族等 ②①にある疾患の市民への対応の相談を希望する市内保育園，教育機関等の職員，関係者	健康推進課
子ども相談室	育児上の悩みや発達上の心配などをもつ保護者の不安軽減のために実施。	就学前の子どもとその保護者	健康推進課
にこにこパンダ すくすくパンダ	親子で遊べる場や仲間づくりの場の提供。	調布市在住の1歳～未就園児とその保護者	子ども家庭支援センターすこやか
すこやか保育	保護者のリフレッシュなど，理由を問わず子どもを預かる。	調布市在住の1歳～小学6年生まで	子ども家庭支援センターすこやか
認可保育園 歯科健診・衛生指導	保育園に在園している児童のむし歯の早期発見や今後のはみがき指導を行う。	歯科健診 市内認可保育園の0～5歳児クラスに在園している児童。 衛生指導 上記に加え保護者，保育園の職員	保育課
こども歯科 相談室	歯科健診，歯磨きの練習，虫歯予防の話を実施。	就学前までの乳幼児	健康推進課
エンゼル大学	子育てや子どもに関する知識を得るため，身近なテーマから，ママのリフレッシュ等さまざまな講座を行っている。	子育て世代の市民	子ども家庭支援センターすこやか
ひろばのお医者さん・歯医者さん・栄養士さん	すこやかロビーで医師や栄養士がテーマに沿った内容の講話を行い，来場者からの質問に応え，健康に関する知識向上をはかる。	子育て世代の市民	子ども家庭支援センターすこやか
おたのしみ タイム	職員によるミニイベントのほか，紙芝居や読み聞かせ，体操や演奏会などを行っている。	親子	子ども家庭支援センターすこやか
パパひろば	父親の育児参加を促すため，すこやか内でのイベントや制作・外出企画を実施。	市内在住の父親または祖父と子ども	子ども家庭支援センターすこやか

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
1 乳幼児期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
◎		○	○	◎	○	○
○	◎	○		◎	◎	○
		○	○	◎		○
○		○	○	○		○
			○	○		○
	◎	◎				
◎	◎	◎	△	○	○	
○	○	○	◎	○		○
○	○	○	○	○		○
			○	○	○	○
			○	○	○	○

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 1 乳幼児期

事業名	事業概要	対象者	課名
すこやか相談コーナー	子どもや保護者からのさまざまな相談に、福祉職、心理職、看護職の相談員が面接、電話、メールで応じる。	18歳未満の子どもとその保護者、地域の方	子ども家庭支援センターすこやか
親子体操	親子体操を講師の指導のもと楽しむ。	乳幼児とその保護者	児童青少年課
子どもサッカー体験教室	FC東京との関連事業。運動するきっかけづくりのためのサッカー教室を年1回開催。	市内在住・在園の年長児の親子及び市内在住・在学の小学生	スポーツ振興課
今から始める健康づくりシリーズ（幼児編・学童編）／ヘルスアップ教室	幼児編は、小学校へ向けての生活の準備と親の健康教育を実施。 学童編は、毎年テーマを変えて健康教育を実施 ヘルスアップ教室は、生活習慣病を予防する知識を幼少の頃から培うために実施。	幼児編：市内保育園幼稚園の年長児とその保護者 学童編：市内学童クラブの利用者 ヘルスアップ教室：市内小学校4～6年生とその保護者	健康推進課
家庭教育講座「毎日の食事を考える 子どもに必要な栄養と頑張りすぎない手作りごはん」	食べるものから健康を考え、必要な栄養を知る・基本のだしと調理実習をとおして必要な栄養を取る食事について学ぶ。	小学生以下の子どもがいる保護者	西部公民館

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
1 乳幼児期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
○	○	○	○	◎	○	○
◎	○	◎	○	○	◎	○
		◎	○			○
◎	◎	◎			○	
○		△			△	△

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

2 学齢期

2 学齢期

事業名	事業概要	対象者	課名
子どもサッカー体験教室	90 ページ参照	90 ページ参照	スポーツ振興課
にこにこサッカークリニック	サッカーを通じて運動することの楽しさを知ってもらうためのサッカー教室。	市内在住・在学の知的障害のある小・中学生	スポーツ振興課
一輪車サークル	一輪車の技術やおもしろさを学んでもらう。	調布市内の小学生	児童青少年課
スポーツサークル	多様なスポーツを楽しみ、年間をとおしてチームワークを形成する。	調布市内の小学生	児童青少年課
やきゅうサークル	野球を通じて、チームで協力することを学ぶ。	調布市内の小学生	児童青少年課
サッカーサークル	サッカーの練習を通じ、楽しさやチームワークを学ぶ。	調布市内の小学生	児童青少年課
トランポリン講習会	講師によるトランポリン指導を行う。	調布市内の小学生	児童青少年課
タグラグビーサークル	スポーツを通じて、ルールを守ることの大切さやチーム行動の重要さを学ぶ。	調布市内の小学生	児童青少年課
ソフトボール大会	市内の小学生がソフトボールをとおして心身を鍛え、仲間との協調性を養うとともに、地区相互の交流、親善を図る。	調布市内の小学生	児童青少年課
フラサークル	ハワイの伝統舞踏であるフラに取り組み、練習の成果を発表する	調布市内の小学生	児童青少年課
バドミントンサークル	バドミントンの基本やルールを学び試合ができるようにする。	調布市内の小学生	児童青少年課
よさこいサークル	よさこいを楽しみ、交流を深める。	調布市内の小学生	児童青少年課
ジャグリングサークル	電通大サークルの指導により、ジャグリングの楽しさを学ぶ。	調布市内の小学生	児童青少年課
大江戸ダンスサークル	大江戸ダンスの練習（基礎から応用まで）を行う。	調布市内の小学生	児童青少年課
学童クラブ対抗ドッチビー大会	学童クラブ対抗のドッチビー大会を開催する。	調布市内の小学生	児童青少年課
Js カップ	調布市内児童館や学童クラブで活動している子どもたちが一堂に会し、チームプレーやルールを守ってプレーすることの大切さを学ぶ。	調布市内の小学生	児童青少年課
今から始める健康づくりシリーズ（幼児編・学童編）／ヘルスアップ教室	90 ページ参照	90 ページ参照	健康推進課



## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 2 学齢期

事業名	事業概要	対象者	課名
乳幼児・義務教育就学児医療費助成	86 ページ参照	86 ページ参照	子ども家庭課
縄跳び月間	縄跳びを使っていろいろな動きを体験し、体を動かす心地よさを味わう。	全児童	上ノ原小学校
歯科衛生士による刷掃指導	歯科衛生士によるはみがき指導。染色液を使って、自分で歯の汚れを発見し、工夫してきれいにすることを目的に行う。	小学3年生	上ノ原小学校
小児生活習慣病予防健康診断	自身の健康状態を知り、将来の生活習慣病予防のため、肥満度・血液検査・血圧測定を行う。	小学校4年生・中学校1年生の希望者	学務課
小児生活習慣病予防健康診断「健康相談」	健康診断の結果にもとづき、子どもたちの現在の健康状態を検査し、医療・運動・保健・栄養の各方面から、望ましい生活習慣について考える場を提供する。	小児生活習慣病予防健康診断の受診者の内、希望者	学務課
親子料理教室	児童・生徒が休みとなる夏季休業中に、朝ごはんや野菜の大切さと、料理の楽しさを伝えることを目的として実施。	市内在住・在学の小学3年生～中学3年生と保護者（2人1組）	学務課
調布市防災教育の日「三中レスキュー隊」	保健委員会の生徒にレスキュー隊の講習を受けさせて認定証を交付し、防災教育の日に避難所の設営や応急処置の補助ができるようにしている。	保健委員会の生徒全員	第三中学校
スクールカウンセラーによる新入生全員面接	スクールカウンセラーが、新入生を5～6人のグループに分けて昼休みと放課後に全員と面接を行う。	中学1年生全員	第三中学校
歯科衛生士による刷掃指導	歯科健診実施後に歯科衛生士（調布市歯科医師会）が行う、歯みがき指導。	中学1年生全員 特別支援学級全学年	第三中学校
中学生健康教育（性感染症・薬物）	第6中学校の2年生には生命誕生、3年生には性感染症について年1回1コマ、授業を実施。 第7中学校の3年生には、薬物防止について年1回1コマ、授業を実施。	6中の2・3年生 7中の3年生	健康推進課
普通救命講習	消防庁の救命技能を取得させる。	中学3年生全員	第三中学校
部活動ファーストエイドリーダーの養成	部活動で起こりうる危険について予測し、傷病や事故の初期対応ができるリーダーを育成する。	運動部活動所属生徒（部長・副部長等）	第三中学校
リフレッシュハイキング	四季折々の絶景ポイントを森林インストラクターとともに植生や樹木とじかにふれあいながら自然観察を行う。	市民（中学生を除く15歳以上）	体育協会

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
2 学齢期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
	○	○				
		○				
◎	◎	◎				
◎	◎	◎				
◎	◎	◎				
○		○			◎	◎
		○			○	◎
○	◎	◎	◎	◎	○	
◎	◎	◎		○	○	○
◎	◎	◎		○		
◎	○	○		○	○	○
◎	○	○		○	○	○
○	△	○	◎			

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

3 成人期

3 成人期

事業名	事業概要	対象者	課名
民生委員	それぞれの地域を担当し、さまざまな相談に応じ、相談者と行政機関とのパイプ役として地域に根ざした広範囲な活動を行う。	市民	福祉総務課
あなたの骨の健康度チェック	骨密度測定をきっかけに、生活習慣・食事・運動等を振り返る。	18～64歳の女性	健康推進課
健康増進健診	特定健診を受ける機会のない無保険の方等に実施する健診。	35歳の市民と40～74歳の健康保険未加入者	健康推進課
特例項目外健診	特定健診で実施しない検査項目を補完的に実施する健診。	40～74歳の調布市国民健康保険加入者及び社会保険・国保組合加入者	健康推進課
肝炎ウイルス検診	B型及びC型肝炎ウイルスによる感染を早期に発見するための検診。	過去に受診歴のない市民	健康推進課
がん検診 (胃・大腸・子宮・前立腺・肺・乳)	各種がん検診を提供する。	胃がん・大腸がん：30歳以上 子宮頸がん：20歳以上女性(隔年) 前立腺がん：50～70歳男性 肺がん：40歳以上 乳がん：40歳以上女性(隔年)	健康推進課
歯周疾患検診	成人の歯を失う1番の原因である歯周疾患の検査を行い、早期に治療へと結びつける。 また、全身疾患との関係性を周知し、予防のため、生活習慣等の改善を図る。	35, 40, 45, 50, 55, 60, 70歳(個別通知) 20歳～59歳(申し込み)	健康推進課
今から始める健康づくりシリーズ(成人編)	健診結果の活用方法、食事内容、お口の健康、体操やストレッチなど、各回のテーマに沿って健康教育を実施。	35～74歳の市民	健康推進課
健康づくり始める会	平成18年6月に発足。運動や食生活のテーマ毎の専門部会を中心に、健康づくりの「きっかけづくり」をめざした活動を市民が主体となって企画・運営している。	市民	健康推進課
ゲートキーパー養成講習会	身近な人の自殺を示すサインに気づき、適切な相談へつなげられるよう、相談機関や方法を伝える事業。	民生委員・民生児童委員、健康づくり教室参加者、保育園・幼稚園の保護者など	健康推進課

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
3 成人期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
				○		○
◎	◎	◎	△			
◎	◎	○				
◎	◎	○				
◎	◎	○				
◎	◎	○		△		
◎	◎	○		○	○	
◎	◎	◎	◎	△	○	
◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
	△		△	◎	○	◎

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 3 成人期

事業名	事業概要	対象者	課名
特定健診	生活習慣病及びその前段階であるメタボリックシンドローム※の早期発見のための健康診断。	調布市国民健康保険加入者の 40～74歳	保険年金課
特定保健指導	保健師や管理栄養士が、生活習慣改善を6か月間サポートし、メタボリックシンドローム※の改善及び生活習慣病の予防を図る。	調布市国民健康保険加入者の 40～74歳 特定健診でメタボリックシンドローム※のリスクありと判断された方のうち、一定の基準を満たす人	保険年金課
糖尿病重症化予防事業	看護職がかかりつけ医と連携し、生活習慣改善を6か月間サポートし、1年後にフォローを行う。	調布市国民健康保険加入者 推定腎症Ⅱ期～Ⅳ期	保険年金課
受療勧奨通知事業	健診結果のレーダーチャートと、同年代と比較した生活習慣病の発症リスクを示した受療勧奨通知を年2回に分けて送付。検査結果が著しく悪い方には、あわせて看護職が電話勧奨を行う。	特定健診の結果が要医療の方かつレセプトで受診が確認できない方	保険年金課
薬剤併用禁忌予防啓発事業 (お薬手帳の利用促進)	併用禁忌・回避の処方・調剤による副作用の発現を予防するため、レセプトデータ分析により、併用禁忌・回避パターン発生状況を抽出し、医師会・薬剤師会と情報共有する。 市内の医療機関・薬局にお薬手帳啓発のポスターを掲示する。	レセプト分析の対象：調布市国民健康保険加入者 お薬手帳啓発の対象：調布市民	保険年金課
喫煙マナーアップパトロール	調布市都市美化の推進に関する条例にもとづき、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てをしている人に対し、パトロール員による巡回指導を行っている。	歩きタバコ、吸い殻のポイ捨てをした人	環境政策課
喫煙マナーアップキャンペーン	調布市都市美化の推進に関する条例にもとづき、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てをしないよう、喫煙者のマナーやモラルを啓発するため、啓発品の配布を行っている。	駅周辺歩行者	環境政策課
健康講座 「リラックスヨガとストレッチで心身ともにリフレッシュしよう」	身体の声を聴いて自分に合った方法で動き、呼吸を観察し、全体のバランスを整えることでリフレッシュし、健康増進につなげる。	市民	西部公民館

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
3 成人期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
○	◎	◎		△		
◎	◎	◎				
◎	◎	◎		○		
○	◎	◎		○		
◎				○		
		△			△	
△		△			△	△
	△	○	○	△		

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 3 成人期

事業名	事業概要	対象者	課名
文化講演会 「大人の食育～ 世の中にあふれ る健康情報ウソ ホント」	健康で長生きのできる食生活の送り方 や、科学的で正しい健康情報の見分け方 について話を伺い、健康増進につなげ る。	市民	北部公民館
健康教室 「背骨周りのリ セットコンディ ショニング」	リセットコンディショニングを知り、ス トレッチで体の柔軟性を知る、関節・リ ンパ節などのコンディショニング、正し いフォームでの筋肉の動かし方を体験す ることで、健康増進につなげる。	市民	北部公民館
健康教室 「健康エクササ イズでバランス のとれた体づく り」	骨盤のゆがみを整えるストレッチ体操、 体全体の筋力アップトレーニング、スト レッチ体操等を行いバランスのとれた体 を作り、健康増進につなげる。	市民	北部公民館
リフレッシュ体 操スクール	日ごろ運動する機会が少ない方を対象 に、運動するきっかけをつくるためのス クール。	市民	体育協会
体育協会セブ ンプログラム	調布市民の健康維持、体力の向上を目的 としたプログラム。	市民	体育協会
リフレッシュ ハイキング	94 ページ参照	94 ページ参照	体育協会

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
3 成人期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
◎	◎	◎				
◎	◎	◎	△	△		
◎	◎	◎				
	○	○	◎			△
	○	○	◎			△
○	△	○	◎			

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

4 高齢期

4 高齢期

事業名	事業概要	対象者	課名
生涯学習サークル体験事業	生涯学習サークルに体験的に参加する機会を設け、生きがい発見や地域での活動に参加するきっかけづくりの機会を提供する。	主にシニア層サークルにより対象が異なる。	生涯学習交流推進課
生涯学習サークル体験発表	生涯学習サークル体験事業の参加者が、学んだ成果等を発表する。	主にシニア層サークルにより対象が異なる。	生涯学習交流推進課
地域デビュー事業	公募の市民で組織された実行委員が主体となり、開催。	シニア層や地域活動への参加を希望する市民	生涯学習交流推進課
生涯学習サークル活動支援事業 in みんなの広場「相談サロン」	みんなの広場で、サークル体験を行いながら、地域デビューのきっかけづくりを推進する。	シニア層や地域活動への参加を希望する市民	生涯学習交流推進課
介護予防講演会「今日からはじめる認知症予防」	保健師による介護予防の話や脳活性化エクササイズを実施。	65歳以上で、要支援・要介護になるおそれが高い方や、事業内容に興味のある方	高齢者支援室
介護予防健診「おたっしゃ21」	生活習慣に関する問診と簡単な体の測定により、寝たきりや要介護状態になるおそれがあるかチェックする。	65歳以上で、要支援・要介護になるおそれが高い方や、事業内容に興味のある方	高齢者支援室
介護予防普及啓発事業「高齢者健康エクササイズ」	保健師による介護予防の講義とFC東京のトレーナーによる運動。	65歳以上で、要支援・要介護になるおそれが高い方や、事業内容に興味のある方	高齢者支援室
介護予防普及啓発教室「知って活かそう介護予防」	運動を中心とし、栄養・口腔 <sup>*</sup> ・認知症に関する介護予防の講話を行う教室。	65歳以上で、要支援・要介護になるおそれが高い方や、事業内容に興味のある方	高齢者支援室
介護予防フォローアップ事業「ステップアップ教室」	介護予防普及啓発教室の卒後者を対象とした、継続的な介護予防に向けた教室。	65歳以上で、要支援・要介護になるおそれが高い方や、事業内容に興味のある方	高齢者支援室

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
4 高齢期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
	○	○	◎	○	○	◎
	○	○	◎	○	○	◎
	○	○	◎	○	◎	◎
	○	○	◎	○	○	◎
		◎				
	◎	○				
		◎				
◎		○				
○		◎				

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 4 高齢期

事業名	事業概要	対象者	課名
地域介護予防活動支援事業	市内の高齢者が中心となり行われる体操などの介護予防に資する活動への補助。	65歳以上で、要支援・要介護になるおそれが高い方や、事業内容に興味のある方	高齢者支援室
健康づくり事業	体を動かす機会や仲間との交流機会を提供することを目的として、利用者のニーズに沿ったさまざまな事業を実施。	65歳以上で、実施場所まで自力で通所可能な方	高齢者支援室
ふれあい給食※	学校の教室を利用し、ひとりぐらし高齢者等に学校給食を会食方式で提供するとともに、趣味活動や子どもとのふれあい等を通じ、介護予防をはかる。	70歳以上で、自力で実施場所へ往復でき、他の通所サービスを利用していない方	高齢者支援室
見守りネットワーク事業「みまもっと」	市民や協力団体が、日常生活または業務活動の中で、地域の高齢者等の異変に気付いたらその情報を地域包括支援センターに連絡し、地域包括支援センターが、現状把握と即時対応を行う。	市民	高齢者支援室
認知症サポーター養成講座	認知症の方が地域で安心して暮らしていけるよう、認知症に対する正しい理解を幅広い年代に広める。	市民	高齢者支援室
生活支援体制整備事業	既存の住民活動への支援や、新たな住民主体の支援活動立ち上げをサポートし、支え合いの地域づくりを推進する。	市民	高齢者支援室
65・70歳の骨粗しょう症検診	骨密度を測定し、骨粗しょう症予防のための知識を習得し、生活習慣病改善の行動変容を促す。	65歳・70歳の女性	健康推進課
健康増進健診	96ページ参照	96ページ参照	健康推進課
特例項目外健診	96ページ参照	96ページ参照	健康推進課
がん検診（胃・大腸・子宮・前立腺・肺・乳）	96ページ参照	96ページ参照	健康推進課
歯周疾患検診	96ページ参照	96ページ参照	健康推進課
健康づくり始める会	96ページ参照	96ページ参照	健康推進課
ゲートキーパー養成講習会	96ページ参照	96ページ参照	健康推進課
特定健診	98ページ参照	98ページ参照	保険年金課
特定保健指導	98ページ参照	98ページ参照	保険年金課
糖尿病重症化予防事業	98ページ参照	98ページ参照	保険年金課
受療勧奨通知事業	98ページ参照	98ページ参照	保険年金課

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
4 高齢期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
		◎			○	◎
		◎			◎	○
				○	◎	◎
				○	◎	○
					◎	○
					○	◎
○	◎	○				
◎	◎	○				
◎	◎	○				
◎	◎	○		△		
◎	◎	○		○	○	
◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
	△		△	◎	○	◎
○	◎	◎		△		
◎	◎	◎				
◎	◎	◎		○		
○	◎	◎		○		

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 4 高齢期

事業名	事業概要	対象者	課名
薬剤併用禁忌予防啓発事業 (お薬手帳の利用促進)	98 ページ参照	98 ページ参照	保険年金課
喫煙マナーアップパトロール	98 ページ参照	98 ページ参照	環境政策課
喫煙マナーアップキャンペーン	98 ページ参照	98 ページ参照	環境政策課
シルバー教室 「女性のための尿失禁予防トレーニング」	排尿トラブルのタイプと対処法, 予防のためのトレーニングを実施。	概ね 60 歳以上の女性	東部公民館
シルバー教室 「楽しい大人の脳トレリトミック」	リズム運動・斉唱・動作を伴う脳トレーニングを体験し, 認知症の予防と地域交流ができる場として実施。	概ね 60 歳以上の市民	東部公民館
シルバー講座 「自律訓練法体験～心身の疲れを取り体調を整える」	自律訓練公式 1 重感, 自律訓練公式 2 温感を体験し体調を整える方法を学ぶ。	概ね 60 歳以上の市民	東部公民館
健康講座 「リラックスヨガとストレッチで心身ともにリフレッシュしよう」	98 ページ参照	98 ページ参照	西部公民館
シニア健康講座 「軽い筋トレとストレッチで口コモを予防」	椅子に座りながらできる全身運動, 椅子を使っでのストレッチ, 寝た姿勢でできる筋力トレーニングを行い口コモ予防につなげる。	概ね 60 歳以上の方	西部・北部公民館
文化講演会 「大人の食育～世の中にあふれる健康情報ウソホント」	100 ページ参照	100 ページ参照	北部公民館
健康教室 「背骨周りのリセットコンディショニング」	100 ページ参照	100 ページ参照	北部公民館
健康教室 「健康エクササイズでバランスのとれた体づくり」	100 ページ参照	100 ページ参照	北部公民館

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
4 高齢期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
◎				○		
		△			△	
△		△			△	△
	○		○	△		
○	○		△		○	○
		△	○	○		
	△	○	○	△		
○	◎	◎				
◎	◎	◎				
◎	◎	◎	△	△		
◎	◎	◎				

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

4 高齢期

事業名	事業概要	対象者	課名
ほのぼの電話訪問	ボランティアがひとりぐらしの高齢者宅へ電話し，話をするこゝで孤独感の緩和と安否確認を行う。	概ね 70 歳以上のひとりぐらし高齢者。そのほか，日中ひとりぐらし，高齢者のみ世帯など見守りが必要と判断された方	社会福祉協議会
友愛訪問	ボランティアがひとりぐらしの高齢者宅を訪問し，話をするこゝで孤独感の緩和と事故の未然防止をはかる。	65 歳以上のひとりぐらし高齢者，および家庭内において日中ひとりぐらしにより話し相手を必要とする方	社会福祉協議会
見守りあんしん訪問	ひとりぐらしの高齢者に週 2 回ヤクルトをお届けし，ひと声かけて安否確認を行う。	概ね 70 歳以上のひとりぐらし高齢者	社会福祉協議会
高齢者会食サービス	健康増進と孤独感の緩和のため，会食サービスを実施する。	概ね 70 歳以上のひとりぐらし高齢者等	社会福祉協議会
高齢者会食ミニデイサービス	健康の維持増進，身体機能の低下の予防，交流を図る。	65 歳以上の利用を希望する方	社会福祉協議会
通所型サービス「よつば」	利用者が要介護状態になることを予防するための運動機能向上プログラムや利用者間交流の機会を提供する。	要支援認定を受けた方，市基準通所型サービスの利用が必要な方	社会福祉協議会
リフレッシュ体操スクール	100 ページ参照	100 ページ参照	体育協会
体育協会セブンプログラム	100 ページ参照	100 ページ参照	体育協会
リフレッシュハイキング	94 ページ参照	94 ページ参照	体育協会

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
4 高齢期

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
△	○		○	◎		○
△	○	△	○	◎		
	△	△		○		○
△	○	○	○	○	△	◎
△	◎	○	○	○	△	◎
○	○	◎	○	○	○	○
	○	○	◎			△
	○	○	◎			△
○	△	○	◎			

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

5 すべての年代・その他

5 すべての年代・その他

事業名	事業概要	対象者	課名
障害者地域生活・就労支援センター「ちょうふだそう」	主に知的障害者が地域で生活するときの各種相談窓口。	主に知的障害者とその家族	障害福祉課
地域生活支援センター「希望ヶ丘」	主に精神障害者が地域で生活するときの各種相談窓口。	主に精神障害者とその家族	障害福祉課
調布市こころの健康支援センター	主に精神障害者、発達障害のある方が地域で生活するときの各種相談窓口。	主に精神障害者、発達障害のある方とその家族	障害福祉課
障害者地域活動支援センター「ドルチェ」	主に身体障害者や高次脳機能障害のある方が地域で生活するときの各種相談窓口。	主に身体障害者や高次脳機能障害のある方とその家族	障害福祉課
ひとり親家庭相談窓口	婚姻せずにひとり親家庭になる際の出産や育児、認知、養育費についての相談を受ける。また、離婚や就労、住まい等、離婚後の生活全般の相談を受ける。	婚姻せずに出産育児を考えている女性、離婚を考えている方、ひとり親家庭の方	子ども家庭課
ひとり親家庭等医療費助成制度	ひとり親家庭等の保護者や児童にかかる医療保険の自己負担分を助成する。なお、保護者及び扶養義務者について所得制限あり。	市内に住所を有する医療保険に加入しており、ひとり親家庭等の要件（離婚・障害・未婚等）に該当している0歳から高校3年生までの児童及びその保護者	子ども家庭課
生涯学習出前講座	市民が主催する学習会等の集会に市の職員等が出向き、事業の案内や専門知識をいかした講座を実施する。	出前講座を希望する市内在住・在学・在勤の5人以上の団体	生涯学習交流推進課
地域健康教育（出前講座）	市民団体や関係機関等の要請にもとづいて地域に出向いて実施。	市民	健康推進課
地域健康相談	地域団体からの依頼により、保健師が出張して定期的に健康相談を実施。	市民	健康推進課
保健師相談（訪問・電話・面接）	市民の健康のために、保健師が行う個別の相談事業。	市民	健康推進課
食事なんでも相談室（栄養相談）	食事に関する個別相談事業。	市民	健康推進課
自殺予防講演会	自殺と密接に関連するところの健康や精神疾患についての正しい知識を普及啓発として講演会を実施。	市民	健康推進課

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
5 すべての年代・その他

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
	△	△	○	◎	△	
	△	△	○	◎	△	
	△	△	○	◎	△	
	△	△	○	◎	△	
◎			○	◎	○	
	○	○				
	○	○	○	○	◎	◎
◎	○	○	○	◎	◎	◎
◎	○	○	○	◎	◎	◎
◎	◎	◎	◎	◎	○	○
◎	○	◎		○	○	
◎	△	○	○	○		

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

## 第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組

### 5 すべての年代・その他

事業名	事業概要	対象者	課名
ふれあい福祉相談	住んでいる身近なところで、さまざまな生活上の悩みや心配事に対して相談に応じ、必要な情報を提供する。	市民	社会福祉協議会
ふれあい福祉ダイヤル	市民のさまざまな悩みや不安を聴き、相談員が問題解決に向けて共に考え、内容に応じた情報提供を行う。	市民	社会福祉協議会
ひだまりサロン事業	地域の中でお互いに支え合い助け合っ て、健康で安心した生活が送れるよう、 憩いの場を提供する。	市民	社会福祉協議会
小地域交流事業	地域の中で助け合っ て健康で安心した生活 が送れるような集いの場 づくりや世代間交流活動 を行っている。	市民	社会福祉協議会

第5章 健康づくりを支え合う行政・協力団体などの取組  
5 すべての年代・その他

目標						
1. 正しい情報を選択する力を身につける	2. 自分の健康状態を知る	3. 健康的な生活習慣を実践する	4. ストレスを解消できる方法を知る	5. 安心して相談できる人・場所を見つける	6. 自分の家族・地域に関心を持つ	7. 地域でのつながりを持つ
○	◎	△	◎	◎	○	○
○	△	△	◎	◎	○	△
○	○	○	◎	◎	◎	◎
△	○	△	○	○	◎	◎

凡例 ◎：事業と目標の関連が強い ○：事業と目標の関連がやや強い  
△：事業と目標にある程度関連がある

